



静物 制作年不詳 油彩・板

# 味わう静物画

2023年11月3日(金) |  
2024年2月25日(日)

開館日：金、土、日および祝日（11月23日（木）、1月8日（月）、2月12日（月）  
年末年始（12月25日（月）から1月4日（木））は休館

開館時間：10時～17時

後援：松阪市／松阪市教育委員会

一般500円、高校・大学生300円、中学生100円、小学生以下無料  
※65歳以上の方、20名様以上の団体は100円引、障害者手帳等をお持ちの方は200円引となります。

※展示作品の一部が替わります。

前期—2023年11月3日（金）—12月24日（日）  
後期—2024年1月5日（金）—2月25日（日）

サイトウミュージアム  
三重県松阪市魚町 1807-1 T:515-0082 Tel: 0598-21-1111  
<https://www.matsusaka-saito-museum.com/>



交通のご案内 | 近鉄・JR松阪駅南口より徒歩約8分。  
お車でお越しの際は近隣の有料パーキング等をご利用ください。

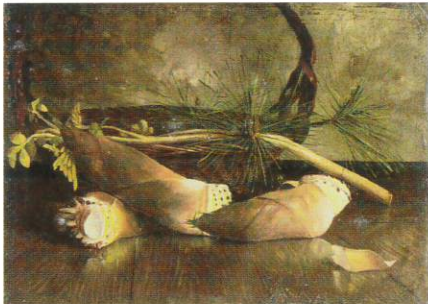
# 味わろう 静物画



花や果物、魚や器（うつわ）などが対象に描かれる静物画。西洋では16世紀の末頃には絵画の重要なジャンルのひとつとなりました。静物画は、風景画とは異なり画家が自分で描く対象を用意し、構成するところに大きな魅力があります。

今回はサイトウミュージアムのコレクションより、近代の日本の画家を中心に様々な静物画をご紹介します。彼らの多くが静物画を描くにあたって、もともと意識したのはフランスの画家ポール・セザンヌ（1839-1906）です。セザンヌはすべてのものの構造を単純なかたちに還元してとらえ絵画の可能性を広げた画家ですが、同時にリンゴや布などの配置や構成に躍動感を与えました。セザンヌ以降の画家たちの多くは、そうしたセザンヌの試みを追体験しながら新たな展開を探っていきました。

まるで画面の中に本物があるかのような迫真的な表現から、香りや味覚などを感じさせるほどに特徴をとらえたもの、さらには自己を静物に投影したものなど、画家のねらいは多岐にわたっています。秋から冬にかけてのこの時期、味わっていただきたい作品たちがここにあります。



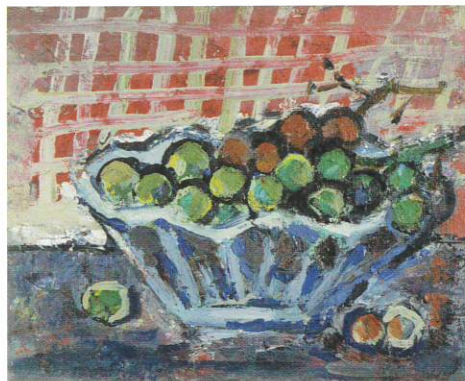
伊藤伏彦《たけのご》明治期 油彩・キャンバス



山下新太郎《薔薇》制作年不詳 油彩・キャンバス



石川寅治《桃果》1960（昭和35）年頃 油彩・キャンバス



斎藤与里《葡萄》制作年不詳 油彩・キャンバス



井手誠一《豆腐》1976（昭和51）年 油彩・キャンバス



鍋井克之《桌上的果実》制作年不詳 油彩・キャンバス



上野山清貞《紅鱈写生》制作年不詳 油彩・キャンバス



交通のご案内 | 近鉄・JR 松阪駅南口より徒歩約8分。  
お車で越しの際は近隣の有料パーキング等をご利用ください。

三重県松阪市魚町 1807-1 〒515-0082  
Tel.0598-21-1111



■会期中のイベント（入館チケットが必要です）  
◎学藝員によるミュージアム・トーク  
2023年11月5日（日）、  
2024年1月6日（土）  
いずれも午後2時から約30分

◎学藝員による絵画のお話スライド・トーク  
展示室にて絵画のよもやま話に花を咲かせます。  
2023年12月3日（日）⑤おいしい静物  
2024年2月3日（土）⑥危なっかしい静物  
いずれも午後2時から約40分、事前申し込み不要。  
詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。

■友の会入会のお誘い  
お申し込みの日から1年間、何度でも鑑賞いただけます。小冊子は展覧会ごとに1冊進呈。お一人様年会費2千円。ご入会、ご継続時にお好きなポストカードを1枚進呈します。

■次回展覧会予告  
「嵐山、そして水のある風景」  
2024年3月1日（金）ー7月15日（月・祝）

サイトウミュージアム



<https://www.matsuyama-saito-museum.com/>